

令和元年10月1日

保護者様

横浜国立緑小学校
校長 能城 順一

平成31年度 全国学力・学習状況調査 (緑小学校の結果)

4月18日(木) に実施された全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

1 学力調査

① 教科別調査結果 (平均正答数と平均正答率の比較)

	国 語		算 数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本 校	8.6 /14 問	61 %	9.4 /14 問	67 %
全国との差	-0.3	-2.8	+ 0.1	+0.4
全 国	8.9 /14 問	63.8 %	9.3 /14 問	66.6 %
神 奈 川	8.5 /14 問	61 %	9.4 /14 問	67 %

昨年度までは、国語A・算数A(主として「知識」)と、国語B・算数B(主として「活用」)にわけて出題されていましたが、今年度からは、「常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題」と、「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や評価・改善する力などにかかわる問題」とを一体的に問う問題形式になりました。従って、従来のAB区分がなくなり、昨年度までの調査結果からの推移は表示できません。

② 標準化得点による全国との比較

	国語	算数
31年度	94	100
全国との差	-6	±0

標準化得点とは、全国の平均正答率を100とした場合の相対的な得点を表します。従来、年度間の比較するのに用いられますが、今年度は「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式になったため、昨年度までの調査結果からの推移は表示できません。

本校の傾向

＜国語＞
 学習指導要領の領域別に見ると、「読むこと」に関する問題の正答率が全国平均を上回っていました。目的に応じて、文章の内容を的確におさえながら読む力がついてきています。しかしながら、「書くこと」に関する問題の正答率は全国平均を下回る結果となりました。特に「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」記述式の問題では、全国と比較して9.4%となり課題が残りました。また「漢字を文の中で正しく使う」ことについても、3問中2問で全国を下回る正答率となり、当該学年の漢字を習得する努力が必要ながかりました。低学年のうちから文の中で漢字を正しく使う練習や、条件に合わせて短い文章を書く練習などを繰り返していくことが必要です。

＜算数＞
 「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で全国の正答率を上回りました。特に「図形の構成要素に着目してまかの図形を構成する」「図形の問題や、「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る」数量関係の問題では正答率が高かったです。
 一方で「わり算に関して成り立つ性質を説明」する記述式問題の正答率は、全国と比較して8.9%となり、課題があることが分かりました。複数の資料を比べて判断した理由を記述する問題の正答率も45.6%と低く、既習の知識をもとにして説明したり記述したりする力をつけていくことが必要です。また「数と計算」の領域の問題では、四則混合で小数と整数が混ざった計算問題の正答率が、全国を下回りました。式の意味を理解して正確に計算できることが求められます。基本的な計算力を高めていくことも今後の課題です。

2 学習状況調査 (生活習慣・学習習慣)

「あてはまる」「どちらかといえば あてはまる」の結果を集計し、全国の平均回答率と比較した結果です。

○ 「あてはまる」と答えた児童の割合が全国平均とほぼ同じか、比べて高かったもの

(緑小 / 全国 %)

・ 基本的な生活習慣に関する事柄は、おおむね数値が高い。

【質問】：朝食を毎日食べていますか。…………… (94.1 / 95.3)
 毎日、同じくらの時刻に寝ていますか。…………… (85.9 / 81.4)
 毎日、同じくらの時刻に起きていますか。…………… (91.2 / 91.6)
 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。…………… (72.5 / 71.5)

・ 規範意識に関する事柄は、全国平均を上回った。

【質問】：学校に行くのは楽しいと思いますか。…………… (90.1 / 85.8)
 学校のみまわりを守っていますか。…………… (93.6 / 92.3)
 人が困っているときは、進んで助けていますか。…………… (89.5 / 87.9)
 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。…………… (97.7 / 97.1)
 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。…………… (96.5 / 95.2)

・ 主体的に学ぶ態度に関する事柄は、おおむね数値が高い。

【質問】：ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。…………… (95.9 / 95.2)
 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みたいと思えますか。…………… (77.2 / 77.7)

○「あてはまる」と答えた児童の割合が全国平均と比べて低かったもの

(緑小 / 全国 %)

・ 自己有用感に関する事柄は、全国平均を下回った。

【質問】：自分にはよいところがあると思いますか。……………(76 / 81.2)
先生は、あなたのようにところを認めてくれていると思いますか。…(80.2 / 86.1)
将来の夢や目標を持っていますか。……………(78.9 / 83.8)

・ 「読む」ことに関する事柄は、全国平均を下回った。

【質問】：読書は好きですか。……………(71.4 / 75)
新聞を読んでいますか。……………(12.3 / 19)

・ 地域や外国とのつながりに関する事柄は、おおむね全国平均を下回った。

【質問】：今住んでいる地域の行事に参加していますか。……………(63.2 / 68)
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたがり思
いますか。……………(68.4 / 68.6)
日本やあなたの住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもら
いたいと思いますか。……………(71.9 / 76.1)

・ 話し合い活動に関する事柄は、おおむね全国平均を下回った。

【質問】：学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりす
ることができていると思いますか。……………(69 / 74.1)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決め
て取り組んでいると思いますか。……………(69 / 73.4)

本校の傾向

「学校のきまりを守ること」「はじめはイヤなこと」などの規範意識が高く、昨年度ま
での人権教育や道徳の授業、特活の授業で取り組んできたことが効果をあらわしている
も考えられます。

主体的に学ぶ態度が身につけてきていることが分かりますが、十分ではありません。学
習課題の解決に向けて、自分で考え行動することができるよう工夫をしていく必要があ
ります。そのためにも、話し合い活動で友達と意見を伝え合い、自分の考えを深めたり広
げたりすることができるようになっていくことが大切です。読書や新聞からの情報を蓄え、
実用的な言葉を習得していくことで、積極的に人と話して関わるようになってい
くと思います。

規則的な生活習慣がおおむね身につけていることは、大変素晴らしいです。家庭での良
い習慣を学校生活の中でも生かしているよう指導していますが、ご家庭でもお子さん
へのお声掛けをお願いします。

これらの結果を教員間で共有し、課題については改善を図り、さらに充実した授業を目指してい
きます。これからも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。